



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院
救命救急センター・総合周産期母子医療センター
地域中核災害医療センター
造血幹細胞移植推進拠点病院



日赤なごや

Vol.62
Autumn 2018



Medical Frontier

第二小児科部長
濱 麻人 医師

お知らせ

● 中村日赤ふれ愛まつり、
ピンクリボンフェスティバルを
開催します!

ふれあい通信

- 豊田自動織機シャトルズが
小児医療センターを慰問
- 清涼感あふれる癒しのひととき
なごやかコンサートを開催!
- 栄養のいろは
まごわやさしい?

Professional Style

伊藤 真粧美さん

Professional Style

プロフェッショナル
スタイル

Vol.62

表紙のひと
看護部
皮膚・排泄ケア認定看護師
いとう まさみ
伊藤 真粧美さん



とこ
床ずれやストーマ*など
ひ ふ はいせつ
皮膚や排泄のトラブルを予防し、
ケアします。

皮膚のトラブルは、知識と技術で防げることがたくさんあります。

寝たきりや麻痺などで体位を変えられない状態が続くと、圧迫された皮膚が赤くなったり、傷ができることがあります。これは褥瘡(床ずれ)と呼ばれるものです。やせて骨が突出しているお尻や太ももの付け根(大転子)、踵にできやすく、ひどくなると感染症を起こすケースもあります。しかし、事前に対処しておけば症状を防ぐことができますし、初期のうちに適切な治療を行えば、痛みにも苦しむこともなく、治療することができます。

当院には、皮膚科や形成外科、整形外科、呼吸器内科の医師と、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、医療ソーシャルワーカーで編成される褥瘡対策チームがあります。私もその一員として褥瘡回診を行うとともに、褥瘡管理の専従看護師として、患者さんのケアにあたっています。

病棟の褥瘡回診では、発生部位や時期、傷の深さ、誘因、栄養状態などを確認し、データを作成・共有します。患者さんの悩み等をお聞きして、体位の工夫や栄養相談、マットの変更など改善策を提案します。治療の経過や最終評価、治癒の有無もデータ化し、院内の褥瘡発生状況を分析するなど今後の治療に生かしています。

患者さんの思い、ご家族の思いに寄り添う気持ちを大切にしています。

ストーマの患者さんとの関係は、手術前のカウンセリングからはじまります。術後に体はどんな状態になるか、生活や仕事に影響はないか、旅行や入浴はできるのか、装具の手入れはどうするか…。患者さんの戸惑いや不安、心の痛みを受け止めて、一つ一つを安心にかえていくのが私たちの仕事。正しい知識と技術を身につけストーマと上手に付き

合うことで、今後も毎日を安心して過ごせることをお伝えしています。

当院のストーマ外来は、人工肛門・膀胱をもつ患者さんを、退院後も長期的な視点で支援していく窓口です。排泄は人間の基本的な欲求であり、場合によっては自尊心をも傷つけるデリケートな行為です。患者さんが生涯にわたり快適な日常生活が送れるように、正しいスキンケアと排泄ケアを全力でサポートします。

「ストーマ外来で見てもらい、いい調子です!と言われると、安心して過ごせます」患者さんからいただくお言葉は、私たちの励みです。当院には、現在4名の皮膚・排泄ケア認定看護師がおります。様々なスキントラブルの予防とケアに、これからも精一杯努めていきたいと思っています。

※手術によって新しくお腹に作られる排泄口。
人工肛門や人工膀胱など。

栄養の いろは

第3回 まごわやさしい?

かわいいお孫さんの話ではなく、バランスの良い食生活のお話です。

今回は医学博士の吉村裕之先生が提唱し、健康的な食生活のポイントとなる合言葉をご紹介します。昔ながらの日本食と関係が深い「まごわやさしい」食品は、生活習慣病の予防・改善にも役立ちます。



- ま** まめ (大豆とその加工品、その他の豆類)
- ご** ごま (種実類: ごま、くるみ、アーモンドなど)
- わ** わかめ (海藻類: わかめ、ひじき、のり、昆布など)
- や** やさい (緑黄色野菜、淡色野菜、根菜類)
- さ** さかな (魚介類: 小魚や青魚がオススメ)
- し** しいたけ (きのこ類)
- い** いも (さつまいも、長いもなど)



以上の食品を効率よくとるためにお勧めの料理は、具たくさん味噌汁。

味噌は「ま」に分類される調味料です。出汁をとる炒子(煮干)はそのまま残して具材に、わかめ、冷蔵庫にある野菜、きのこ類、芋類を入れて煮込み、味噌を溶いて最後にごまを振れば、まごわやさしい味噌汁の完成です。

ユネスコの世界遺産にもなった「和食」の良さを見直し、健康的な食生活を始めてみてはいかがでしょうか。

小児血液腫瘍科は、 がんと闘うお子さんとそのご家族を あらゆる側面から支援しています。

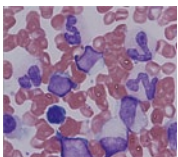
小児がんの多くは、 白血病と呼ばれる血液のがんです。

白血病は、血液の中の白血球が悪性腫瘍となる病気です。体を巡る血液ががん化して増殖するため、治療がとても難しく、かつては不治の病と呼ばれていました。しかし、ここ30年ほどの間に治療技術が著しく進歩して、現在では約8割の患者さんを治せるようになっています。

小児白血病の多くは、進行の早い急性白血病です。治療は化学療法(抗がん剤治療)を中心に行います。成長期の子どもは、ダメージを受けても立ち直る再生力が高いため、比較的強い化学療法を行うことができます。様々な特性をもつ薬を上手に組み合わせ、副作用を抑えて、治療することをめざします。がんの克服はもちろんのこと、その先の人生も大切です。子どもの夢や希望を未来に残す治療に努めています。

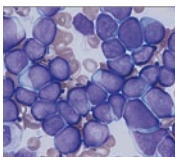
急性白血病とは？

正常の骨髄



白血球や赤血球のもとになるいろいろな細胞がみられます。

急性白血病の骨髄



白血病細胞が骨髄の中を占めていて正常な細胞がみられません。

当院は、造血幹細胞移植推進拠点病院です。

薬の進歩だけでなく、ここ30年で移植技術も大きく進化しています。

造血細胞*移植は、化学療法だけでは治療が難しい患者さんに行います。これは、がん化した細胞を薬や放射線で死滅させ、健康な細胞に入れ替える治療法です。骨髄移植が始まった当初は、HLA(白血球の型)の一致するドナーが血縁者にいなければ、移植は叶いませんでした。しかし、現在は骨髄だけでなく、末梢血幹細胞やさい帯血も用いることができるようになり、また、HLAが完全に一致しなくても移植できるようになりました。国内外の骨髄バンクからドナーを探すしくみも整ってきています。

当院における移植の歴史は古く、小児科だけで約700件の実績があります。さらに、全国の専門機関と連携し、研修会を開くなど移植技術の向上にも努めています。

移植には、小児血液腫瘍科をはじめ、看護師、臨床心理士、造血細胞移植コーディネーター、薬剤師、栄養士、保育士など、多職種で編成されたチームで治療にあたっています。移植後も長期フォローアップ外来で、定期健診や社会支援、心配事の相談など多方面からサポートします。

がんの治療だけでなく、 心と体の成長を大切にしています。

化学療法や造血細胞移植には、長期の入院が伴います。患児とご家族が安心して治療に臨めるように、病棟以外の環境も整えています。

当院には「院内学級」が設置されており、学童期の患児の学びと成長を支えています。教室に行けない患児には、教員が病室を訪問し、ベッドサイド学習を行っています。就学前の患児には、保育士が寄り添って、遊びや日常生活を通して心身の成長を図っています。

また、遠方から入院された患児のご家族には、当院より徒歩3分圏内に宿泊施設「めばえ」を設け、ご家族の経済的・心理的負担を抑える役目を果たしています。

多感な時期に不調を抱え、病気と闘う子どもたち、ご家族もまた様々な痛みを抱えているはず。私たちができるのは、治療技術と社会のしきみを最大限に活用し、患児一人一人の病気の完治をめざすことです。治療後も毎日の生活が問題なく過ごせるように、今後もチーム体制で最善の医療に取り組めます。

*骨髄やさい帯血の中にある、血液を造るもととなる細胞。



第二小児科部長
日本小児科学会小児科専門医
日本血液学会血液専門医
日本小児血液がん学会 小児血液・がん専門医
日本造血細胞移植学会造血細胞移植認定医
はま あさひ
濱 麻人 医師



Information
お知らせ

中村日赤ふれ愛まつり、 ピンクリボンフェスティバルを 開催します!

今年も「地域のみなさまとともに健康で元なまちづくり」をテーマに、第9回中村日赤ふれ愛まつりを開催します。

体内脂肪、血糖値、血管年齢、足型などの各種「健康チェックコーナー」のほか、昨年大人気だった「薬の調剤体験」、みなさまにお楽しみいただける「たっちゃん紙芝居」、「ホスピタル・クラウンショー」などを予定しています。ぜひご来場ください。

また、ピンクリボン月間でもある10月。当院では毎年、ピンクリボンフェスティバルを開催しています。乳がん検診を多くの方に受けていただくよう啓発する活動です。

内ヶ島講堂にて、講演・フリートークなどを行うほか、マンモグラフィー撮影室見学や自己検診レクチャーなどを企画していますので、こちらへもぜひご来場ください。

詳細な内容は院内で配布しているチラシもしくは、ホームページをご覧ください。

中村日赤ふれ愛まつり 平成30年10月13日(土) 10:00~15:00

ピンクリボンフェスティバル 平成30年10月27日(土) 12:00~15:30



中国琵琶コンサート

ト・ゼンショウ

中国琵琶の第一人者・涂善祥さんと、奥様でありソプラノ歌手でもある矢野留美さんをお迎えし、今年も中国琵琶コンサートを開催いたします。

中国琵琶の独特な調べと心地よい歌声をぜひ会場でお楽しみください。



開催日 平成30年12月10日(月) **会場** 西棟1階ホスピタルモール

がんサロン「コスモス」 開催のご案内

がんによる悩みや不安を自由に語り合う場、がんサロン「コスモス」を開催いたします。予定は下記のとおりです。ぜひご参加ください。

開催日 平成30年
10月23日(火)
11月27日(火)
12月25日(火)



時間 15:00~16:30

会場 東棟2階 会議室1

健康教室を開講します

参加
無料

テーマ 「糖尿病」

座長 内分泌内科部長 尾崎 信暁

講師 内分泌内科医師 上田 一裕
「糖尿病診療:最近のトピックス」

講師 看護師 日本糖尿病療養指導士 加藤 富士枝
「長寿の一步は足のお手入れ」

開催日 平成30年11月12日(月)

時間 14:00~16:00

会場 東棟2階 内ヶ島講堂

ふれあい通信

Topics
1

豊田自動織機シャトルズが 小児医療センターを慰問

7/11

平成30年7月11日(水)、ラグビートップリーグで活躍する豊田自動織機シャトルズの長江有祐選手、平原大敬選手、サム・グリーン選手、小西大樹選手の4名が西棟7階小児医療センターを慰問に訪れ、グッズを一人一人に手渡しながら励ましの言葉をかけられました。

同センターの食堂で行われた質問会では、「好きな食べ物は何か?」という患儿からの問いに、がっしりとした体格の源と感じさせる「お肉」と答えた長江選手と平原選手に対して、「ケーキ」「チョコレート」と答えた小西選手とサム選手。意外にもスイーツ男子という一面を知り、会場は大盛り上がりでした。その後患儿から選手に慰問のお礼として手作りのメダルが贈られ、選手も「みんなからパワーをもらいました」と嬉しそうな様子でした。

平成31年には、日本でラグビーワールドカップが開催されることもあり、ラグビー熱高まる昨今。普段間近で見ることのない大きな体を目の当たりにし、子どもたちも大興奮の一日でした。



Topics
2

清涼感あふれる癒しのひととき なごやかコンサートを開催!

8/13

平成30年8月13日(月)西棟1階ホスピタルモールにてなごやかコンサートを開催、お盆期間中ということもあり、来場者は延べ200名を超えました。このコンサートは、フルート・オカリナ奏者である加藤由記さんのご厚志により始まり、今年でなんと11回目。昨年^{さみそ}に引き続き、共演にピアニスト佐溝章代さんをお迎えし、メドレーやアンコールを含めた13曲を演奏していただきました。

シューベルトの「アヴェマリア」に始まり、夏の薫りを感じさせる「さとうきび畑」、「芭蕉布」、「夏の思い出」と続きます。「となりのトロメドレー」がサプライズで演奏されると、会場のしっとりとした雰囲気から一転、子どもたちもパツと明るい笑顔を見せました。続く「Y.M.C.A.」では自然と手拍子が起こり、口ずさむ人も。

アンコールには「涙そうそう」。涼しげなフルートとピアノのメロディーにのせた来場者の歌声がホスピタルモールに響き渡り、癒しのひとときとなりました。



外来診療担当医表

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください。 2018年10月1日現在


診療科目		月	火	水	木	金	
内科	血液	小澤	宮村	宮村	小澤	森下	
		後藤(限)	AM川口	川島	後藤(実)	尾崎	
		PM後藤(実)	PM森下	新家	PM岡部	PM李	
		PM李	新家	PM岡部・川口	PM尾崎	PM後藤(限)	
	内分泌	清田	栗本/PM尾崎	尾崎	尾崎	清田	
		上田	土田	—	上田	土田	
	腎臓	遠藤	石川	田中	鷺野	石川	
	神経	馬淵	平野	後藤	真野	後藤	
		渡邊	本田	馬淵	渡邊	本田	
		小森	高阪	小森	平野	高阪	
循環器	新患	清水(洋)	岡部	山田	近藤	平松	
	再診	神谷	嶋野	神谷	柴田(義)	柴田(義)	
		柴田(義)	宮田	清水(真)	久保田	森下	
※第1・3・5金曜日(午後)専門外来、第2・4金曜日(午後)板東							
科	呼吸器	新患	青山	高納	谷本/横山(俊)	横山(俊)	佐野/町井
		再診	横山(俊)	谷本/PM田中	青山	佐野	野村
	消化器	PM石川	佐野/町井	PM稲垣	高納	AM横山(俊) PM横山(俊)	
		土居崎	山口	鷺見	山口	春田	
		鷺見	大橋/PM南	春田/PM青井	大橋	土居崎	
		河村	八田	藤吉	藤吉/PM河村	青井	
	総合診療	高野	—	南	PM高野	八田	
		—	松久	—	PM榛葉	—	
	小児科	午前	福見	濱	安田	鬼頭	大島
			藤城	西門	坂口	福見	西門
佐治木			大萱	三井	前村	竹内	
松本			尾関	奥山	川田	朱	
午後(専門外来)		アレルギー	—	—	—	國崎	—
		循環器	三井	—	—	福見	—
		血液	—	濱	PM土居崎	吉田	(交代)
		神経	—	—	竹内	大萱	夏目
		腎臓	—	渥美	—	—	—
		新生児発達	鬼頭	中山	新井	安田	大城
予防接種	(交代)	(交代)	—	—	—		
乳児健診	—	—	(交代)	—	(交代)		
小児内分泌	—	—	—	—	西門		
●予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。							
外科	一般消化器外科	宮田	竹内	湯浅	永井	宮田/永井	
		三宅	吉岡	浅井(宗)	神原/PM竹内	三宅	
		鶴田	長尾	深田	—	水野	
	乳腺内分泌外科	—	浅井(宗)/PM後藤	後藤	後藤・浅井	岩瀬	
		澤木	伊藤(新患)・折居	前川	在國寺	伊藤(新患)・所	
	心臓外科	伊藤(新患)・尾関	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	
	血管外科	—	山本	錦見(新患)	徳永	—	
	呼吸器外科	森/福本	森/PM森	森	—	森	
	小児外科	村瀬	村瀬	—	—	—	
禁煙外来	毎週火曜日(13時~15時)石川						
形成外科	林/菱田	—	林	—	菱田		
整形外科	新患	長谷	杉本/杉浦	井戸	田中	風間	
		井上	山本	井上	洪	石川	
	再診	洪	石川	八木	山本	八木	
		(交代)	大塚	杉本/松浦	大塚	長谷	
—	田中	—	風間	井戸			

診療科目		月	火	水	木	金
脳神経外科	服部	和田	稲尾	(交代)	岡本	
	羽生	—	波多野		藤谷	
	奥村	—	伊藤		—	
皮膚科	佐藤	澤田	澤田	澤田	澤田	
	井上	井上	佐藤	佐藤	佐藤	
	今井	今井	今井	井上	井上	
泌尿器科	服部	平林	(交代)	PM松井	服部	
	鈴木(省)	服部	川西	加藤(隆)	平林・松井	
女性泌尿器外来	加藤(久)	加藤(久)	—	加藤(久) (新患)	—	
		鈴木(省)	PM加藤(久)			
	●新患は(木)にご来院ください。					
産婦人科	新患	安藤	廣村	栗林	齋藤	水野
	再診	奥原/PM夫馬	水野/PM上田	坂堂	廣村/PM西子	上田/PM奥原
	生殖内分泌・内視鏡	齋藤	安藤	—	安藤	齋藤
	化療外来	—	(交代)	(交代)	(交代)	—
	妊婦診	溝口	栗林	大西	手塚	三澤
		津田	—	—	—	津田
	パースセンター	PM津田	PM朝比奈	—	—	PM朝比奈
		—	夫馬	—	猪飼	—
	助産師	助産師	助産師	助産師	助産師	助産師
	眼科	佐藤	—	佐藤	(交代)	小林
(交代)		—	(交代)	(交代)	(交代)	
耳鼻咽喉科	新患	寺田	鈴木(洋)	柘植	土井	石田
	再診	柘植	寺田	寺田	柘植	鈴木(洋)
		石田	土井	鈴木(洋)	石田	土井
リハビリテーション	石川	洪	石川	井上	山本	
放射線科	山田	山田	山田	山田	山田	
	高瀬	高瀬	高瀬	高瀬	高瀬	
	●詳細は受付にお問い合わせください。					
歯科口腔外科	新患	大岩	佐藤	(交代)	長縄	(交代)
	再診	佐藤	大岩	—	大岩	—
		長縄	長縄	—	佐藤	—
緩和ケア科	緩和ケア外来	火曜日 PM 河合		水曜日 PM 湯浅		

外来診療のご案内

- ◆初診 …………… 総合案内で『診療申込票』に必要事項をご記入の上、保険証・(初めて受診される方) 紹介状・各種医療証書を添えて、新患受付にお出ください。
- ◆診療受付時間 …… 午前8時20分～午前11時
(緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- ◆休診日 …………… 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日～1月3日)
日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ◆セカンドオピニオン …… 詳しくは患者相談室までお問い合わせください。
- ◆専門外来 …………… 患者相談室 電話052-485-3503(直通)

お問い合わせ先 **052-481-5111** (代表)

 当院は、病院敷地内全面禁煙です。
ご理解とご協力をお願いいたします。

人間ドックのご案内

年に一度の健康管理をしてみませんか?

- ◆健康管理センター …… 電話にてお問い合わせください(予約制です)
- ◆受付時間 …………… 月～金曜日(休診日を除く)午前8時50分～午後5時20分
電話052-471-3855(直通)

休診情報はホームページでご覧いただけます。

<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

TOP » 診療科部門 » 休診情報



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733
<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

理念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基本方針

- 1 皆さまが安心できる癒しの森といたします。
- 2 高度・良質で安全な医療をいたします。
- 3 災害救護活動を積極的に行います。
- 4 周産期・小児及び救急医療を充実します。
- 5 医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
- 6 職員の教育・研修を推進します。
- 7 健全経営を維持するように努めます。

臨床研修の理念

医療に必要な不可欠な知識や技術の習得により、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る能力を身につけることを目的とする。名古屋西部という都市部における社会構造・高齢化など地域にとって必要な医療を理解し、在宅医療などの社会医療サービスとの連携をはかり、地域医療貢献の修得を目的とする。